

松伏かがり火通信



松伏町では男女共同参画の推進を図るため、令和2年10月23日(金)に、埼玉県家庭教育アドバイザーとして活動され、松伏町男女共同参画推進委員の荻野裕佳里氏を講師に迎え、「男女共同参画の身近なおはなし」について人権セミナーを開催しました。昨年に続き第4弾です。

1 最近のキーワードを集めてみました

これらの言葉を説明できますか？

ルッキズム：見た目重視主義

10月11日：国際ガールズデー

パパクォーター制：父親に育児休暇を義務づける制度

SDGs：国連の持続可能な開発目標「ジェンダー平等」等

フラワーデモ：花を身につけて性暴力を抗議する社会運動

美術館女子：美術作品を背景に女性アイドルを撮影した企画

アンコンシャス・バイアス：無意識の偏見や先入観

ジェンダー・バイアス：社会的な男女の役割に対する偏見や先入観

男女間暴力対策課：令和2年10月1日に内閣府に新設されたDV・性暴力の対策課



荻野氏のセミナーの様子

2 ジェンダー・ギャップ(男女平等の格差)なんと日本は121位(2019年データ)

毎年、世界各国における経済、教育、健康、政治の4分野14項目のデータから男女平等度合いを測る「ジェンダー・ギャップ指数」を算出し、総合点で順位付けしたものです。

1位は11年連続となるアイスランドで、最も男女が平等に近い国となりました。

日本の総合順位は153か国中121位で、前年の149か国中110位から後退しました。日本では、男女間賃金格差が大きく、男性正社員の賃金を100%とした時、女性正社員の賃金は73.5%で約3/4(2014年データ)となっています。

3 ジェンダー・バイアスの話・・・「上州名物、かかあ天下とからっ風」

かかあ天下は、「夫を尻に敷く強い妻」という意味で使われることがほとんどで、亭主関白の対義語として用いられることがあります。本来は、上州(群馬)の女性は、養蚕・製紙・織物の絹産業の担い手であり、高い経済力があり、発言力も大きかったので、活発で働き者の上州の女性を表す言葉でした。からっ風は、地形と気象の問題です。

誰もがいきいきと「自分らしく」暮らせるまちを目指して

様々な分野へ女性の活躍が進むことは、女性だけでなく、男女がともに暮らしやすい社会の実現につながります。

「固定的性別役割分担意識」

時代とともに・・・



男女平等は憲法で保障された権利ですが、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方、固定的性別役割分担意識が依然として残っています。性別で役割や生き方を決める意識は、長い時間をかけて人々の意識に浸透し、習慣や制度の中に形づくられてきたものです。

こうした意識や仕組みを変えていくためには、一人ひとりが、**"男女共同参画は自分自身の問題である"**と気付くことが重要です。

そのような時代の真ただ中を過ごし、現在は、家事に介護、民生委員・児童委員をはじめ、町の審議会の委員や交通指導員としても活動している、松伏町男女共同参画推進委員の今井新吉さんをご紹介します。



今井さんの交通安全指導の様子

子どもの頃は、家の手伝いをすると、父から、男は家のことはやらなくてよいと言われて育った。でも時代とともに、家のことは何でもこなす。料理もやってみると楽しく、嫌だと思ったことはないそうです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止で、学校が休校になった時は、子どもたちの顔が浮かび、元気にしているかな？と毎日気にかかり寂しかった。子どもたちからパワーをもらって元気になる！と、にこやかに話す今井さんに、普段、思っていることを聞いてみました。

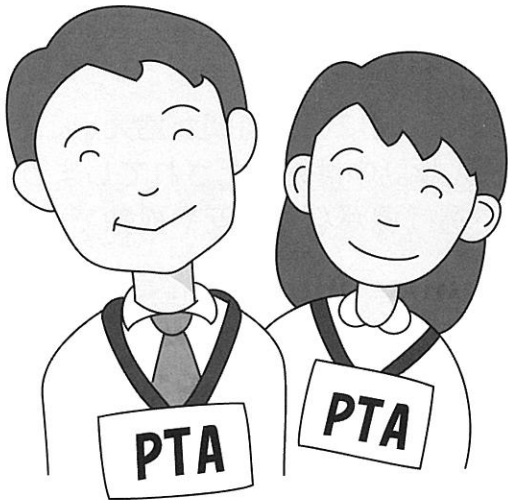
今日、子どものしつけ、家庭教育、子どもの発達などについての情報は、ネット、テレビ、雑誌、講演会などを通して溢れるほどに流れています。そのような情報の渦に親子ともども巻き込まれて、情報がなかった時代よりも、ともすると、しつけに自信を失いがちになっているのは、私だけではないと思います。親が子どもに対してなすべき役割を再確認することが必要ではないかと思います。

子どもが、幼いうちに家庭で親から体験的に学ばなければならないことが、しばしばなおざりにされ、学校や先生にその責任を転嫁している場合が少なくありません。自分でできることは自分です。身の自立、食事のマナー、あいさつ等は、日常の家庭生活の中で親のしつけから自然に学びとっていくものです。後になって、中々身につくものではありません。

最後に、親の養育態度、しつけについて、大切なのは一貫性です。親の都合や機嫌でしつけが変わったのでは、子どもは何が正しいことか、何はしてはいけないことかを判断することはできません。一人ひとりの行動の「自由」を認め、「博愛」をすべての人の心に、「権利」を十分に認め合い、「義務」を遂行し、「平等」を根底に、「差等」を認識し合い、努力した人が報われる、明るい親子関係、地域社会の構築ができると思います。

変わる松伏町のPTA

松伏町のPTAが変わりつつあります。



松伏町PTA連合会前会長として活動され、松伏町教育委員及び松伏町男女共同参画推進委員の宇田川陽子さんに、このコロナ禍の中のPTA活動についてお話を伺いました。

松伏町は小学校3校、中学校2校、合わせて5校という小規模な町です。

なんと5校とも令和2年度のPTA会長は女性です。

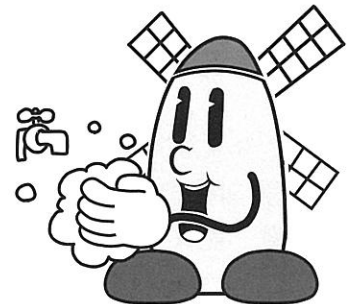
他の市町をみると8割以上は男性会長が当たり前のところ、とても驚かれるそうです。

共働き、ひとり親世帯が、全国的に増えつつある昨今、生活スタイルに合わせて活動内容を見直し、活動時間が負担になるものを中止にし、活動に多くの人数が必要なものは募集制に変更しました。

また、参加する家庭にも変化があらわれました。イクメンの時代がわかるかのように、男性の出席や役員の応募がみられました。中には共働きなので、一つの役員活動をご夫婦交代で参加するご家庭もありました。この場合は、PTA活動などをご夫婦で共有し、お子さんの様子と合わせて、家庭での会話を増やすきっかけにもなっているようです。

今は、新型コロナウイルスにより、活動にさらに変化を望まれます。

時代に合わせた学校メールの採用は、PTAの予算で感染予防対策に必要なものを取り寄せ、消毒活動の協力の呼びかけなども行われて、先生方の負担を減らす助力にもなっています。

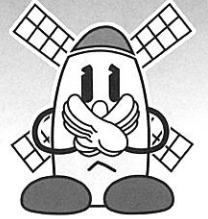


各家庭が地域から取り残されがちにならないよう、保護者が誰にも相談できず一人で抱え込むことを見逃さないよう、今なぜPTAが必要なのかを根本から考え、求められる形を目指します。

そしてあるものを上手に使う^{したた}強かさを兼ね備えて、子どもたちの環境を守ることを常に念頭において改革し続けるでしょう。

戦後、民主化の一環として設立されたPTAですが、共働き家庭が増える中、時代とそぐわない点も指摘されています。一方で、保護者の活動が消滅することで、子どもたちがどんな学校生活を送っているのか見えにくくなると不安の声もあります。様々な状況変化の中、何よりも今は、新型コロナウイルスの一日も早い終息を願うばかりです。

新型コロナウイルス感染症拡大で DVが増えています。



「コロナDV」「コロナ離婚」という造語も出現しました。

外出自粛でストレス、休業要請で経済的な不安から、いらだつ事が多くなりました。

会社はテレワーク・在宅勤務を推奨し、平時よりも夫婦が家に一緒にいる時間が増え、これがDVを増加させる原因になっています。一方で、在宅勤務が増え電話中は外にだされてしまう、外に出れば感染リスクがあり、実家が遠い、親族と疎遠などで逃げ場がなく不安や孤独でどうしていいかわからない人もいます。

DVとは 夫婦や恋人など親密な関係で行われる暴力行為をいいます。

- ・身体的暴力 …………… 殴る・蹴る・物をなげつける・突き飛ばす・刃物を振りかざす等。
- ・精神的暴力 …………… 大声でどなる。暴言・交友関係や毎日の行動を細かく監視する。
- ・経済的暴力 …………… 生活費を渡さない。仕事を辞めさせて経済的に弱い立場にさせる等。
- ・性的暴力 …………… 望まない性行為の強要、避妊に協力しない等。
- ・子どもを利用した暴力 …… 子どもへの加害をほのめかす。子どもを被害者から離す。
子どもに被害者が悪いと思わせる等。

ひとりで悩んでいないで・・・相談してみませんか？

◆女性相談(要予約)◆

日 時：月曜日(第1・3・5) 午前9時30分～12時30分

最新の情報(曜日と時間)を確認してください

場 所：役場内相談室(保育希望者は予約の際にお伝えください)

電 話：予約 企画財政課 ☎991-1815 (月・水・土の相談開設時間のみ) ☎991-1825

あなたの持っている資格や経験や知識を町政にいかしてみませんか



町では、あらゆる分野への女性の参画を推進するため、各種審議会や講座等の講師に女性を積極的に登用したいと考えています。そこで、町と協力して何かやってみたい人、得意とする分野で活躍したい人を募集しています。

対 象：町内に在住・在勤(在学)の20歳以上の女性で次のいずれかの要件を満たす方

- (1) 町政や地域の発展に熱意を持っている人
- (2) あらゆる分野の有識者及び有資格者
- (3) 勤務先や各種団体で社会活動を行っている人 詳細は企画財政課へご連絡ください

※登録した方が必ず審議会委員や講座等の講師に登用されるものではありません。

☆「松伏かがり火通信」は、平成27年にNo. 1を発行、同年に完成した「かがり火公園」から引用したものです。

☆「松伏かがり火通信」について、ご意見・ご感想をお寄せください。

発行／松伏町企画財政課 TEL 991-1815 FAX 991-7681 メール kizai1020300@town.matsubushi.lg.jp